



2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月21日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 CEO (氏名) ジョン・キム

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 白井 康平

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 2023年5月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	4,945	15.3	207	44.4	229	38.6	159	34.6
2022年12月期第1四半期	4,288		372		373		244	

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 189百万円 (34.8%) 2022年12月期第1四半期 290百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	16.57	
2022年12月期第1四半期	25.34	

2022年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	19,149		11,443			59.8
2022年12月期	19,960		11,398			57.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 11,443百万円 2022年12月期 11,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		15.00		15.00	30.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,100	0.3	1,720	0.6	1,700	0.5	1,080	12.4	112.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	9,644,554 株	2022年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	8,717 株	2022年12月期	8,717 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	9,635,837 株	2022年12月期1Q	9,635,881 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものはありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年1月～3月）における日本国内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の第7波・第8波を経ながらも人流は回復傾向にあり、3月13日には感染症対策の緩和もあり、景気は穏やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、資源価格や為替の変動により、物価の上昇、円安の進行、人件費の高騰なども懸念されており、社会全体が依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「We make people happy.」「アイスクリームを通じて、人々に幸せをお届けします。」を企業理念に、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと「FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）」に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めております。

また、引き続き、先ずお客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理の徹底として工場・店舗における感染防止に取り組むとともに、当社グループの長期経営計画（ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大）を推進しています。

<ブランドパワー強化>

ブランドパワー強化として、バリュー・プロモーションによる集客キャンペーンからお客様のデマンドに合わせたマーケティングへの方向転換を行う中、他業種では出来ないサーティワンらしいプロモーションを行いました。具体的には毎月の「新作フレーバー」として専門店ならではの魅力的なアイスクリームを新発売し選ぶ楽しさを提供するとともに、商品ラインナップを強化いたしました。「バラエティボックス」では新しいパッケージにすることでお客様の利便性を高めるイノベーションを実施した結果、発売以来24ヶ月連続で前年実績を超えております。さらに、新店舗デザインの「F1 (Flavor 1st)」、「MOMENTS」導入による店舗イメージの刷新を進めるため、店舗の全面改装を30店実施いたしました。その結果、309店舗が新デザインの店舗となっており、売上にも貢献ははじめております。

<デジタル化>

デジタル化施策としては、予約受付も取り入れたモバイルオーダーを推進したことにより、店舗の接客の短縮にもつながり、お客様の利便性向上に貢献しております。デジタルを活用したコミュニケーションツールの会員制アプリ「31Club」の会員数は、640万人を超えております。会員の購入額は売上全体の30%を占めており、会員でない方に比べ購入額が30%も多くなっています。併せてSNSなどの告知を強化して来店促進と売上向上を図りました。また、デジタルサイネージ導入を改装と合わせて促進し、636店舗が導入済となりました。

<スマート31>

スマート31施策として、サプライチェーン・マネジメントの最適化で原価率の抑制を図っております。組織に関しては、引き続きリモートによる就業やペーパーレスなど働き方改革による最適化を行っています。また、オフィスや生産工場、そして店舗でも、エネルギーの効率的な使用に努めており、2工場における食品残渣の削減、電気使用量の削減に加え、商品改廃によるプラスチック使用量の削減も図っております。店舗においては、包装材料の見直しによるスプーンの減容化を実施いたしました。

<販売拠点拡大>

店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、立地や利用シーンの多様化に着目した持ち帰り専門店『To Go 専門店』を昨年3月に出店し、現在、主要都市を中心に9店舗出店しております。また、大学のカフェテリア、野球場や行楽地、水族館やサービスエリアへの出店など消費者のタッチポイントを増やすよう積極的に取り組んだ結果、当四半期末販売拠点数は国内外合わせて、1,324ヶ所と前年同期末に比べ76ヶ所増加となっております。

当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の売上高は、同期間過去最高の小売売上高を記録したことに牽引され、49億45百万円（前年同期比115.3%）となりました。

売上原価は24億33百万円（前年同期比121.2%）となっておりますが、増収及び製造原価の抑制を行った結果、原価の高騰及び円安の影響を一部吸収し、前年同期間と比較して1億18百万円のコスト増に留めました。その結果、売上総利益は25億12百万円（前年同期比110.1%）となりました。

販売費及び一般管理費については、まん延防止等重点措置発令下の2022年と比較して広告宣伝を追加投入したこと、物流費等の売上増加に伴う販売費の増加、及び新規に出店した直営店（To Go 専門店）の管理費の増加などで3億96百万円増加したことにより、23億4百万円となりました。

その結果、営業利益は2億7百万円（前年同期比55.6%）となりました。これは、連結業績予想に沿うものです。

また、経常利益は2億29百万円（前年同期比61.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億59百万円（前年同期比65.4%）となり、こちらも連結業績予想に沿っております。

なお、当社グループはアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ8億10百万円減少の191億49百万円となりました。これは主に、例年通りの配当金及び税金の支払いにより、現金及び預金が減少したことによるものであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ8億55百万円減少の77億6百万円となりました。これは主に、未払金の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ44百万円増加の114億43百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が配当金の支払いを上回ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月10日に公表いたしました「2022年12月期決算短信(連結)」の業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,797,136	4,827,989
売掛金	1,849,505	1,540,475
製品	959,041	1,401,118
原材料	519,109	622,397
貯蔵品	369,375	373,074
前払費用	300,837	348,440
未収入金	632,582	281,749
未収消費税等	45,082	117,874
その他	187,245	147,986
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	10,659,905	9,661,097
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,227,882	4,227,882
減価償却累計額	△2,259,215	△2,297,193
建物(純額)	1,968,666	1,930,688
構築物	444,950	444,950
減価償却累計額	△288,774	△293,403
構築物(純額)	156,175	151,547
機械及び装置	4,239,534	4,241,223
減価償却累計額	△3,491,375	△3,546,050
機械及び装置(純額)	748,158	695,172
賃貸店舗用設備	4,438,045	4,372,000
減価償却累計額	△2,945,172	△2,612,422
賃貸店舗用設備(純額)	1,492,873	1,759,578
直営店舗用設備	655,711	662,049
減価償却累計額	△113,718	△131,214
直営店舗用設備(純額)	541,992	530,835
車両運搬具	62,259	62,292
減価償却累計額	△35,841	△38,108
車両運搬具(純額)	26,417	24,184
工具、器具及び備品	710,369	725,757
減価償却累計額	△606,112	△614,136
工具、器具及び備品(純額)	104,256	111,620
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	3,018	13,229
有形固定資産合計	5,736,921	5,912,219
無形固定資産		
のれん	209,046	206,047
その他	411,737	484,722
無形固定資産合計	620,784	690,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
投資その他の資産		
破産更生債権等	27,499	25,411
長期前払費用	404,267	348,383
繰延税金資産	255,945	244,646
敷金及び保証金	2,156,976	2,168,448
その他	113,686	113,655
貸倒引当金	△15,265	△14,811
投資その他の資産合計	2,943,110	2,885,733
固定資産合計	9,300,816	9,488,723
資産合計	19,960,721	19,149,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	656,560	642,122
1年内返済予定の長期借入金	230,012	230,012
未払金	2,887,302	1,992,224
未払法人税等	260,760	83,135
契約負債	1,657,709	1,633,975
預り金	204,983	491,570
賞与引当金	67,473	121,402
役員賞与引当金	42,200	19,525
その他	225,987	265,385
流動負債合計	6,232,989	5,479,353
固定負債		
長期借入金	744,082	686,579
退職給付に係る負債	74,021	71,838
役員退職慰労引当金	59,600	27,476
資産除去債務	150,200	149,539
長期預り保証金	1,290,854	1,281,201
繰延税金負債	10,626	10,692
固定負債合計	2,329,384	2,227,326
負債合計	8,562,373	7,706,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金	241,079	241,079
利益剰余金	10,390,557	10,405,672
自己株式	△17,519	△17,519
株主資本合計	11,349,403	11,364,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,579	△3,018
繰延ヘッジ損益	△60,710	△34,670
為替換算調整勘定	112,234	116,311
その他の包括利益累計額合計	48,944	78,623
純資産合計	11,398,347	11,443,141
負債純資産合計	19,960,721	19,149,820

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	4,288,952	4,945,622
売上原価	2,007,658	2,433,475
売上総利益	2,281,294	2,512,146
販売費及び一般管理費	1,908,832	2,304,908
営業利益	372,461	207,238
営業外収益		
受取利息	311	7
為替差益	5,167	-
受取ロイヤリティー	256	14,043
受取報奨金	-	15,131
その他	3,228	3,671
営業外収益合計	8,963	32,854
営業外費用		
支払利息	2,773	2,440
為替差損	-	2,235
店舗設備除去損	5,038	5,957
その他	3	41
営業外費用合計	7,816	10,675
経常利益	373,609	229,418
特別利益		
固定資産売却益	76	-
特別利益合計	76	-
特別損失		
固定資産廃棄損	3,650	4,684
特別損失合計	3,650	4,684
税金等調整前四半期純利益	370,035	224,733
法人税等	125,849	65,081
四半期純利益	244,185	159,652
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,185	159,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	578	△438
繰延ヘッジ損益	12,031	26,040
為替換算調整勘定	33,533	4,077
その他の包括利益合計	46,144	29,679
四半期包括利益	290,330	189,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,330	189,331
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。